

# アカゲザル防除通信



(2101号)

アカゲザル等防除連絡会  
千葉県自然保護課

(平成21年1月30日発行)

県では、房総半島南部に生息する特定外来生物のアカゲザルについて、平成19年3月に外来生物法に基づく防除実施計画を策定して防除事業を実施していますが、この度、南房総県民センター安房事務所（館山市所在）に、「アカゲザル等防除連絡会」が設置され、この一環として「アカゲザル防除通信」を発行（年数回：不定期）することとしました。

今後この通信を通じて、アカゲザルの捕獲の状況など防除事業の実施状況について、地域の皆さまに随時お知らせしていきます。

## ☆最新ニュース

### ！「千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画」の計画期間を延長しました。

県では、平成17年度から本格的にアカゲザルの防除事業に取り組んでいますが、効果的な捕獲を行うため、当初はアカゲザルに電波発信機を装着して、サルの行動域など生息状況の把握に重点を置いていました。このため、新しい大型檻による捕獲は平成19年度からとなりましたが、この年には年間で128頭を捕獲することができるなど、効果は着実に上がっていると考えています。

しかしながら、当初の防除実施計画で定めていた本年3月31日までの防除期間では、集中防除区域における全頭捕獲という目標の達成が困難な状況にあります。このため、防除期間を平成24年3月31日まで3年間延長する内容の計画の改定案を、昨年12月18日に千葉市において開催した「千葉県特定外来生物(アカゲザル)防除実施計画策定検討会」に諮り了承されました。

現在、改定後の計画について、国に対して外来生物法に基づく確認を受けるための申請を行っていますが、県では、この期間にこだわることなく、引続き1日も早い全頭捕獲の目標の達成に取り組みますので、御理解をいただきますようお願いいたします。

### ！「アカゲザル等防除連絡会」が設置されました。

昨年11月、地域の皆さまの御協力による一層の捕獲の推進を図るため、「アカゲザル等防除連絡会」が設置されました。

この連絡会では、アカゲザルについての目撃情報や被害状況についての情報の収集を行うとともに、捕獲状況など事業の実施状況の情報の共有を図ることとしています。

この連絡会には、地域の区長さんなども構成員として加わっていただいていますので、アカゲザルの出現情報や被害情報など、地元市役所又は構成員の方などを通じて御提供いただきますようお願いいたします。

#### 【アカゲザル等防除連絡会の構成員】 [敬称略]

県：清水延郎（南房総県民センター安房事務所長） 山田善一（県自然保護課鳥獣対策室長）  
市：渡辺均（館山市農水産課長） 水嶋誠二（南房総市農林水産課長）  
農協：渡辺道男（安房農協営農経済センター課長） 平野清二（安房農協白浜支店長）  
森林組合：長谷川清次郎（千葉県森林組合安房支所長） 猟友会：塚本暁（安房猟友会長）  
観光公社：瀧邊文明（館山野鳥の森管理事務所長）  
地元協力者：平野正洋（南房総市有害鳥獣対策協議会白浜支部長）  
川嶋誠（館山市神戸上郷地区区長） 石井義雄（館山市神余農家組合会長）  
防除事業受託者：白井啓（柵野生動物保護管理事務所）

### ！1月に入り、大型檻でアカゲザルが捕獲されるようになりました。

昨年後半は比較的暖かな日が続き、アカゲザルの餌となるような植物などがいつまでも山にあったせいか、アカゲザルが檻の餌を食べずに、捕獲が進まない状況にありました。しかしながら、寒波の到来とともに、年末からは檻の中の餌を食べようになり、1月に入り大型檻で捕獲が行われるようになりました。これから春にかけては、1年の中で最も捕獲が期待できる時期ですので、大量捕獲ができるよう取り組んでいます。

## !大型檻を建設しています。

これまで、4基（1基は平成13年度に建設した古いもの）の大型檻により捕獲を行ってきましたが、アカゲザルが良く利用している南房総市の森林の土地所有者の方に用地をご提供いただき、現在、新しい大型檻の建設を進めています。

檻は、サルに餌付けを行いながら、警戒心を持たれないようゆっくりと建設していますが、建設地の餌付け用のミカンをサルが全て食べており、この檻により、捕獲が進むものと期待しています。

## ☆アカゲザル—口メモ

アカゲザルは、ニホンザル、タイワンザル、カニクイザルなどと同じ、オナガザル科のマカク属のサルで、アフガニスタンから中国までアジア大陸に広く分布しています。

日本にはこれまで実験用などで輸入されてきましたが、国内で野生化した群れが確認されたのは、千葉県だけです。

ニホンザルとの大きな違いは、ニホンザルの尻尾が10cm程度なのに対して、アカゲザルの尻尾は20～30cmあることと、腰から下の体毛が黄もしくは赤味を帯びていることです。

千葉県では、平成7年度に館山市布良地区において、アカゲザルの集団を初めて確認されましたが、現在では、館山市と南房総市の一部に600頭前後が生息しているものと推定しています。

また、サルは基本的に「群れ」を作って行動していますが、これまでの調査の結果、この地域には、少なくとも「オタキ群」（500頭前後）と「ミヤコ群」（50頭前後）の2つの群れがあることがわかってきました。なお、この他にこれらの群れに属さない集団があり、引続き調査を行っています。

アカゲザルの食べ物は、山の木の実などでは、アケビの果実、マテバシイの堅果（ドングリ）、メダケの茎などですが、農作物ではナバナの花や茎、ダイコン、ソラマメの茎などに被害が出ています。この他には、カマキリの卵も食べているようです。

この地域に生息するアカゲザルは、山の中にいることが多く、房総丘陵のニホンザルに比べて人馴れがしていないので、被害を増やさないため、農地などに取り残しの農作物を残さないなど、サルを人里に誘引しないことが大事です。



アカゲザル（池田文隆さん撮影）

## ☆これまでの捕獲の状況

平成21年1月30日現在

年 度	捕獲数	内 訳		備 考
		殺処分	発信機装着	
平成17年度	3	2	1	
平成18年度	24	11	13	大型檻1基建設
平成19年度	128	112	16	大型檻2基建設
平成20年度	40	35	5	大型檻1基建設
計	195	160	35	

※発信機を装着したサルは、避妊手術を施して放獣しています。

### このチラシに関する問合せ先

千葉県環境生活部自然保護課（鳥獣対策室） 043（223）2058

南房総県民センター安房事務所（地域環境室） 0470（22）7111

### アカゲザルの目撃情報、被害状況についての連絡先

館山市にお住まいの方：館山市農水産課 0470（22）3397

南房総市にお住まいの方：南房総市農林水産課 0470（33）1071

**アカゲザルの餌付けのため、出荷できない果実や野菜等がありましたら提供をお願いします。**